

* 当プレスリリースは英国ロンドンにて 12 月 11 日に発表したリリースの翻訳版です

報道関係各位

2007 年 12 月 20 日
株式会社フィデッサ

IND-X セキュリティーズ社がフィデッサ・レイテントゼロのトレーディング・システム、 EMS ワークステーションを使って株式取引を開始

全金融資産取引対応のトレーディング・システム、マーケット・データ、コネクティビティ・ソリューションのフィデッサおよびフィデッサ・レイテントゼロの製品・サービスを提供する株式会社フィデッサ(本社英国ロンドン、日本支社東京都千代田区、チーフ・エグゼクティブ: イアン・チルトン、以下フィデッサ)は本日、IND-X セキュリティーズ・リミテッド(以下、IND-X セキュリティーズ)がフィデッサ・レイテントゼロのトレーディング・システム EMS ワークステーションを使って、この度日本株取引の注文執行サービスを開始したと発表しました。

IND-X セキュリティーズは、東証マザーズ上場会社である、独立系株式リサーチ会社ジャパンインベスト・グループ・ピー・エル・シー(コード:3827 東証マザーズ)の子会社です。当社は、2007 年に日本株を購入するバイサイドの機関投資家を対象にした、証券会社の利益相反から開放された日本株式取引の(売買)執行サービスの拠点構築のために設立されました。

IND-X セキュリティーズの経験豊富な(株式売買)執行サービス営業チームはフィデッサ・レイテントゼロの EMS ワークステーションを介して顧客から発注フローを受け取り、世界 230 を超えるブローカーのダイレクトマーケットアクセス(DMA)やアルゴリズム取引に接続しているフィデッサのコネクティビティ・ネットワークを経由してサービスを提供します。

2007 年 11 月の設立以来、IND-X セキュリティーズはコスト効率の良い、利益相反のないサービスを最先端のコミッション管理製品とともに顧客に提供することを目指しています。現在は日本株式取引の(売買)執行サービスを提供していますが、2008 年の上半期中にアジア諸国や英国市場での執行サービスも開始する予定です。

IND-X セキュリティーズの CEO、ピーター・ツイスト氏は、「当社は小規模調査会社に対して、無理のない価格で(株式売買)執行サービスの場を提供することを目指しています。フィデッサ・レイテントゼロの EMS ソリューションと当社の経験豊富な執行サービススペシャリストのスキルを活用することにより、小規模なセルサイドクライアントに対して、リーズナブルな価格で、より広範囲にわたる株式取引の場を提供することができます。ますます多くの取引現場がオープンするポスト MiFID の取引環境の中で、顧客の最良の執行ポリシーに準拠するようにオーダーをこれらの取引へと導くことができます。」と述べています。

フィデッサ・レイテントゼロの CEO であるリチャード・ジョーンズは次のように述べます。「私たちは IND-X セキュリティーズを当社の EMS ワークステーションの新たな顧客としてお迎えできたことを大変嬉しく思います。このソリューションは、ブローカーに左右されない公平性、世界規模の広範なカバレッジ、ASP サービスでの利用等の理由から注目が高まっています。これは、あらゆる資産マネージャーが、迅速にブローカーや DMA、アルゴリズム取引への接続、活用を達成できる方法です。」

フィデッサ・レイテントゼロの EMS ワークステーションは、単一のアプリケーションで OMS と EMS サービスを包括的に提供する市場初の OEMS である Capstone Minerva™ のシステムの一部としても提供可能です。この製品は 2005 年に市場に投入され、現在 130 社以上で導入されています。

IND-X セキュリティーズについて

IND-X セキュリティーズは、ポスト MiFID の取引環境の中で、FIX 使用可能な、利益相反のない株式の売買執行拠点をバイサイドの企業に提供しています。また、ブローカーの利益相反から開放されたプラットフォームを提供し、執行サービスを行うブローカーを通して、匿名性を保った取引を行うことができます。独立した情報源から提供される業界最先端の取引前分析及び取引コスト分析結果を用いて最適化された取引ソリューションを提供する一方、この取引プラットフォームは最良の実行マトリックスをサポートします。また、IND-X は高度で機能豊富かつ使い勝手の良いコミッション管理システム「PORT」を提供しています。この構築に 2 年を費やしたツールは、取引が確定されてから、顧客が選択したサービスプロバイダーに実際にコミッションが支払われるまでの流れをファンドマネージャーが確実に管理できるようにします。

ファンドマネージャーは多数の執行サービスブローカーの取引の場にアクセスすることができます。また、ATSs ECNs や、あるいはブローカーダークプールなどの代替執行市場の流動性へのアクセスが可能になります。

ジャパンインベスト・グループについて

ジャパンインベスト・グループは、海外の機関投資家向けに独立した日本株式の株式リサーチ・サービスを提供する企業です。東京、ロンドン、ニューヨークを拠点とする経験豊富なリサーチ・セールス・チームにより、高品質かつタイムリーな株式リサーチを提供することに焦点を当てた事業活動をしています。2006 年 12 月 7 日には、東証マザーズのグローバル市場展開初の上場企業となりました。当社の取締役会は、3 名の経験豊富な社外取締役により統制されています。この社外取締役には元駐日英国大使のサー・ジョン・ホワイトヘッドも含まれます。現在当社では、アジアにおける株式リサーチ業務の立ち上げ準備を行っています。グループの子会社である IND-X セキュリティーズは、証券会社の利益相反から開放された匿名性のある、かつコミッション管理のフロントエンドソフトウェアパッケージを備えた株式取引のプラットフォームとして、欧州での MiFID level II 導入にあわせて 2007 年 11 月 1 日に設立されました。

フィデッサ・グループについて

フィデッサ・グループは、全金融資産取引対応トレーディング・システム(OMS/EMS)、ポートフォリオ管理、投資意思決定支援、コンプライアンス管理、マーケットデータ、グローバルコネクティビティー(グローバル運用に適應したネットワーク接続)を包括する世界最高水準のトレーディング・ソリューションを提供しています。シンプルなワークステーションの形態から、個別の顧客要求に応じた統合型アプリケーションまで様々な形での提供が可能です。Fidessa および Fidessa LatentZero は、フロントおよびミドルオフィス・ソリューションとして幅広い機能と広範なサービス領域を、セルサイド、バイサイドのあらゆる規模の顧客企業に提供するという理念のもとに構築されています。

現在、トレーディング・ソリューション、注文/発注管理システム、マーケットデータ、グローバルコネクティビティーを提供している Fidessa は、世界大手証券会社の 85% により使用されています。

また、Fidessa LatentZero は世界最大の資産運用会社やヘッジファンドにより使用され、包括的なポートフォリオ分析、モデリング、発注管理、事前/事後取引過程のコンプライアンス管理を司るソリューションをバイサイドに提供しています。

Fidessa のグローバル・ネットワークは、現在、月に 5,000 万件以上のメッセージを配信、約 1,300 のバイサイド企業、230 のブローカー、83 の取引所間の電子取引フローをカバーしています。

株式会社フィデッサについて

株式会社フィデッサは、2000 年 1 月に Fidessa® を提供する英フィデッサ・グループ plc の日本法人として設立されました。フィデッサ・グループ plc は、1981 年の創立で、現在、ロンドン(本社)、サリー(英)、ニューヨーク、ボストン、東京、香港、パリ、トロントを拠点に、1,059 人の従業員を要し、1997 年よりロンドン証券取引所に上場されています。2007 年にレイテントゼロ社を買収しました。2006 年度のグループ全体の売上は、9,460 万ポンド(約 226 億円)です。
<http://www.Fidessa.com/JP>

【この件に関するお問い合わせ先】

株式会社フィデッサ マーケティング部 松原 弘 ・ 本橋 幸 電話: 03-4550-1000(代)
株式会社パーソン・マーステラ 来島 一男 ・ 松元 涼子 電話: 03-3264-6701(代)